

さぬき市教育事務点検評価委員会（第1回） 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成26年7月30日（水） 9：30～11：33
- 2 場 所 さぬき市教育委員会2階会議室
- 3 出席者 [委 員] 宮本 強 伊座並大一 鈴木 珠美
 [事務局] 安藤教育長 和田教育部長
 東教育総務課長 谷学校教育課長
 中野生涯学習課長 津田学校再編対策室長
 細川学校教育課主幹 富田教育総務課係長
 [傍 聴] なし
- 4 議 題 教育委員会の事務の点検及び評価制度の趣旨等について
 教育委員会の事務の点検及び評価報告書の内容について
 その他
- 5 会議の内容は、次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	ただ今から、さぬき市教育事務点検評価委員会（第1回）を開会します。開会に当たり、教育長から御挨拶を申し上げます。
(教育長)	(教育長あいさつ)
(事務局)	お手元に配布している次第に沿って会議を進めます。まずは、「教育委員会の事務の点検及び評価制度の趣旨」について説明します。
(事務局)	(点検・評価の概要について説明)
(事務局)	続いて、「教育委員会の事務の点検及び評価報告書の内容」について説明します。まずは、点検評価総括表について担当から説明させます。
(事務局)	(平成25年度に実施した施策の点検評価総括表について説明)
(事務局)	次に、各施策の個別評価・成果と課題・改善策について、それぞれ担当課長から説明させます。
(事務局)	(各施策の個別評価・成果と課題・改善策について説明)
(事務局)	ただ今の説明について、質問・意見等はありませんか。
(委員)	3ページ。B評価が多くなっているのは、評価が難しいものであるとか、予算の都合や教育委員会だけでは成果を挙げにくいものが見受けられ、事務局の努力と苦慮がうかがえるものと受け止めています。
(委員)	5ページ。eライブラリの導入に関し、市内家庭のパソコン保有率は把握していますか。
(教育長)	ある中学校では8割ぐらいは家庭で利用できると聞いたことがあります。残り2割に対しては、学校のパソコン教室を一部開放するなどして利用す

	<p>ることができるようにしています。</p>
(事務局)	<p>事務局として詳細なデータは把握していませんが、今年の夏からタブレット端末にも対応できるようになったので、スマートフォンでも見ることができます。パソコンが無くても利用できる環境は広がりつつあると言えます。また、教員がプリント学習にこのソフトを活用しています。</p>
(委員)	<p>8ページ。子ども読書活動について、「司書がいないと実施が難しい」とあるが、司書はいないのですか。</p>
(事務局)	<p>市内の両図書館には、司書資格を持った職員を配置していますが、市立図書館が学校図書館を支援する場合に、それ向けのスキルを習得しておくことが必要であるとの認識のものです。</p>
(委員)	<p>9ページ。雨滝自然科学館等の記述に関し、団体で子どもたちが利用する場合の移動手段は、どのようにしているのですか。</p>
(事務局)	<p>近くの学校については、徒歩で来ています。それ以外の学校に関しては、マイクロバス等によるほかないと思われませんが、なかなか学校での対応ができないようで、志度や長尾といった離れた学校については、利用が難しいという現状です。</p>
(委員)	<p>9ページ。文化財資料の常設館について、以前から検討がされていましたが、具体的な動きや進捗はどうなっていますか。</p>
(事務局)	<p>学校再編に伴う閉校した学校跡地を資料館として活用したいという関係者の意向は、市長部局等に伝えていますが、具体的な動きというほどは進んでいない状況です。</p>
(委員)	<p>15ページ。市教育振興基本計画中、教育委員会を社会教育施設や文化施設で開催するとあることについて、いつの会議で開催したのですか。</p>
(事務局)	<p>平成25年度においては、改修工事が完了したことから、1月の第10回定例会を志度学校給食共同調理場で開催しました。今後も、年に1回程度は各種教育施設で開催したいと考えています。</p>
(委員)	<p>3ページ。評価総括表について、複数の取組項目をまとめ評価した場合、Bと評価している項目は教育委員会だけでは改善することが困難なものがほとんどで、これが引き続きBのままの状態が続いた場合に、単に成果がないと理解されてしまうおそれがあるように危惧します。</p>
(事務局)	<p>予算やマンパワーに大きく影響される項目が多数あり、これらの項目は教育委員会だけではどうにもできないのは確かですが、逆に言えば、このような方法で評価することによって、そのような実態が見えてくると言うこともできるのではないかと思います。</p>
(事務局)	<p>例えば、3・4年続けて実施した事業で、評価がBからAに変わらない、変わることができなくなった場合に、表面だけを見て、教育委員会に対する「何をしているのか」という不信感や、さらには改善に向けた取組やその努力に対する</p>

	<p>疑念を生じさせることがあるとは思いますが。それについては、初めての評価ですので、今後、分析していきたいと思ひます。</p>
(委員)	<p>自分のこれまでの経験から考えても、変えようと努力しても、他者との関係の中でどうしても変化しないということもあり、その事象に対しては、評価がBのままであることの適否よりも、改善に向けた取組やその努力への疑念の声に対して、取組過程やその努力の内容をきちんと主張することが必要だと思ひます。</p>
(委員)	<p>7ページ。放課後子ども教室などの取組に関して。労働人口の減少によって、企業の経済活動にも支障が生じているという指摘もある中で、女性の社会進出、就労が期待されているが、さぬき市においても子を持つ女性が安心して就労できる環境づくりが必要だと思ひます。市長部局との連携を図りながら、より一層の取組に期待します。</p>
(事務局)	<p>現在、教育委員会も参画しながら、市長部局において子ども子育て支援計画を作成しているところです。</p>
(事務局)	<p>他に質問等がないようですので、その他に移ります。</p> <p>(意見書の作成・提出について説明、次回日程の調整)</p>
(事務局)	<p>次回会議は、9月3日(水)午前10時から、教育委員会会議室で行います。</p> <p>以上で会議を終了します。</p>